

平成 30 年度推薦入試 I

小 論 文

農学部 農業経済学科

平成 29 年 11 月 22 日 (水) 実施

10 時 00 分～11 時 30 分

開始前に以下の注意事項をよく読んでおくこと

1. 検査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この問題冊子には、問題用紙 2 枚、解答用紙 4 枚、下書き用紙 4 枚が封入されており、3つの設問がある。
乱丁、落丁、印刷不鮮明の個所があった場合には、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。
所定の欄以外に記入したものは、無効である。

試験科目：小論文 農業経済学科 試験問題

次の文章を読んで、問1、問2、問3に答えなさい。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

出典：広井良典著『コミュニティを問いなおす 一つながり・都市・日本社会の未来』、ちくま新書、2009年、一部改変

問1. 人と人との関係性から、農村型コミュニティとはどういうものであると筆者は述べているか。100字以内で述べなさい。(20点)

問2. 戦後日本社会は、農村から都市への人口大移動の歴史であり、都市の中の農村(ムラ社会)を作ってきた。その流れの中で、現在の日本社会について、筆者は3つの特徴を挙げている。それらの特徴を300字以内で述べなさい。(40点)

問3. 筆者は、“日本社会における根本的な課題は、「個人と個人がつながる」ような、「都市型コミュニティ」ないし関係性というものをいかに作っていけるか、という点に集約される”と述べている。そうした社会を作っていくために、私たち一人ひとりは何のようなことができるか。400字以内であなたの考えを述べなさい。(40点)